



デサントグループ
サステナビリティ
レポート2021



すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを

はじめに

デサントグループは、社会との持続的な相乗発展のために、サステナビリティおよびCSRに対する考え方や取り組みについてステークホルダーの皆様にお伝えし、ご理解いただくことを目的として、従来のCSRレポートから名称を変更した本書「デサントグループ サステナビリティレポート」と当社コーポレートサイト(<https://www.descente.co.jp>)にあります「CSR情報」を作成しています。「CSR情報」は、CSR活動全般について網羅的に掲載し、検索性に配慮しています。本書「デサントグループサステナビリティレポート」は、自社で重要度が高いと判断した内容をISO26000(国際標準化機構が定めた、組織の社会的責任に関する国際規格)を参照し、SDGs(持続可能な開発目標)に通じる考え・取り組み・試みについても、より多くの皆様にお読みいただきたいテーマを取り上げています。本書が、読者であるステークホルダーの皆様にとって、デサントグループが果たすサステナビリティ・CSRへのご関心・ご理解の一助となれば幸いです。

企業理念

企業理念は社会における「DESCENTEの存在意義」であり、社会との関わりを表したビジョンです。

『すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを』

スポーツ本来の「体を動かす楽しさ」、「競い合う楽しさ」を提供することで
一人一人のいきいきとしたライフスタイルの創造に貢献します。

サステナビリティ方針

デサントグループは、社会から期待される責任を果たし、事業の持続可能な成長をより促進させるため、従来の「CSR基本方針」を2021年度より「サステナビリティ方針」へと名称を変更しました。

1. デサントグループは、企業理念に基づき、スポーツを通じて人々の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献します。
2. デサントグループは、経済・社会及び環境との関わりの中で求められる期待に、事業活動を通じて応えることによって、社会とともに持続的な相乗発展を目指します。
3. デサントグループは、「デサントグループ倫理綱領」に基づき、国内外において人権を尊重し、関連法令及び国際ルールを順守しつつ、高い倫理観と向上心を持って行動します。

活動概要

- 誠実な企業活動
- 人権の尊重
- 従業員とのかかわり
- 環境との調和
- 公正な事業慣行
- お客様とのかかわり
- 地域社会とのかかわり

デサントのSDGs(持続可能な開発目標)への貢献

2015年の国連サミットにおいて採択されたSDGsの17の目標のうち、デサントグループは次の4つを最も貢献できる目標として特定いたしました。

3 すべての人に健康と福祉を

デサントグループが生み出す商品やサービスを通じて「スポーツを遊ぶ楽しさを」提供し、人々の健康寿命の延伸に貢献しています。

➡P.15 地域社会とのかかわり

8 働きがいも経済成長も

“働きがいのある人間らしい仕事-ディーセント・ワーク”推進に向け、従業員一人一人がいきいきと能力を十分に発揮し、活躍できる環境の整備に取り組んでいます。

➡P.10 従業員とのかかわり

12 つくる責任 つかう責任

メーカーとして持続可能なモノづくりへと貢献すべく、サプライチェーンマネジメントの強化および廃棄物の少ないモノづくりへのシフトを進めています。

➡P.6 サプライチェーンマネジメント

13 気候変動に具体的な対策を

デサントグループは独自の「環境基本理念」を制定しており、気候変動への対策として事業活動における環境負荷の低減に取り組んでいます。

➡P.4 環境保全への取り組み

目次

トップメッセージ	2	お客様とのかかわり	13
会社概要	3	地域社会とのかかわり	15
環境保全への取り組み	4	マテリアリティの特定	17
サプライチェーンマネジメント	6	トピックス	18
コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス	8	財務・非財務ハイライト	20
従業員とのかかわり	10		

新中期経営計画「D-Summit 2023」のもとで「モノづくり」を強化し、マテリアリティの解決に注力します。



株式会社デサント
代表取締役社長

こせき しゅういち
小関 秀一

2020年度は新型コロナウイルスによる感染症が拡大し、世界中の人々が大きな影響を受けた1年となりました。この場を借りてお亡くなりになった方々に謹んでお悔やみを申し上げます。デサントグループは従業員、取引先をはじめとするステークホルダーの皆さまの安全を第一に考え、政府・自治体からの要求に適切に対応しながら持続的な社会の実現と企業理念の達成に向けて取り組んでいます。後ろ向きになってしまいがちな環境下ではありますが、私自身は、この1年を通しスポーツが本来、備えているポジティブな力を改めて実感しています。すべての人々が安心して、スポーツを遊ぶ楽しさを体感できる日々を一日でも早く取り戻せることを願っています。

4つのマテリアリティを特定し、解決に向かう

今回のような感染症に限らず、気候変動・人権問題といった社会課題は、もはや他人事ではありません。当社も一企業市民として、スポーツを遊ぶ環境を守るために持続的な社会の達成に向けて取り組みを強めていく所存です。

そのための第一歩として、当社のサステナビリティ方針に則り、4つのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。当社はこれまでも2002年に独自の環境基本理念を策定し、環境への貢献に取り組んできたほか、2015年より国連グローバルコンパクトに賛同するなど社会課題への取り組みを続けてきました。2021年度からは、特定したマテリアリティの解決に向け、まずは「作り過ぎ」からの脱却を通じ、事業成長と社会課題の解決に同時に取り組んでいきます。

スポーツウェアから、動くためのウェアへ

マテリアリティの解決、そしてサステナビリティの実現に欠かせない当社の強みは「モノづくり」の力です。他社にはないパターン(型紙)技術や自社工場で製造される高品質のスポーツ

ウェアは、日本国内に加えて、海外においても評価され、特に韓国・中国ではプレミアムスポーツアパレルブランドとして多くのお客様にご愛用いただいています。トップアスリート向けのスポーツウェアはもちろん、これまでの開発で培ってきた技術を活用し、着用シーンをスポーツに限定しない“動くためのウェア”を「カラダ動く、ココロ動く。“MoveWear”」と定義し、動くときに着て心地良い、着ていることでココロがワクワクするようなウェアを作っていきます。そしてお客様にその価値をしっかりとご認識いただけるよう、お客様と直接の接点となる直営店・ECの展開を拡大していきます。

新中期経営計画「D-Summit 2023」を推進

2020年度は新型コロナウイルスの世界的蔓延により、経営環境は激変し、企業の持続のためには大胆な変化が必要となりました。当社でも、赤字が恒常化していた欧米子会社の株式売却・清算により、2019年8月に発表した中期経営計画「D-Summit 2021(ディーサミット 2021)」で掲げた、アジア(日本・韓国・中国)への経営資源の集中を完了しました。日本事業では構造改革の方針を決め、実行段階に移行するなど、これまでの事業構造からの変換を急いでいます。2021年5月には、1年前倒しして「D-Summit 2021」を終了すると同時に、2024年3月期までの新中期経営計画「D-Summit 2023」を発表し、日本・韓国・中国でのバランスの良い収益体制の実現、そしてサステナビリティ方針に基づいたマテリアリティの解決に注力します。当社は過去を打ち破り新たな価値を提供していく「不破不立」の精神で、すべてのステークホルダーの皆さまのご期待に応えると同時に、持続可能な社会の実現に向けて努力し続けます。

2021年7月
株式会社デサント
代表取締役社長
小関 秀一

デサントグループは、「デサント」をはじめ9つのブランドを展開し、高品質と高機能を追求したスポーツ用品を企画・製造・販売しています。一般の方からトップアスリートまで、世界中の人々にスポーツを楽しんでいただけるよう、各ブランドで独自のマーケティングを実践し、ブランド価値のさらなる向上に挑戦中です。

ブランド一覧 (2021年3月末現在)

● **自社ブランド** (テリトリー: 全世界)
 デサントグループが商標権を保有するブランドです



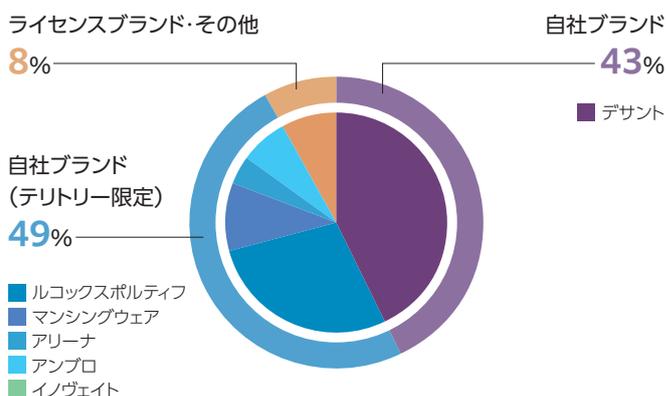
● **自社ブランド** (テリトリー: 国・地域限定)
 デサントグループが国・地域限定で商標権を保有するブランドです



● **ライセンスブランド・その他**
 デサントがライセンス契約等にもとづき展開しているブランドです

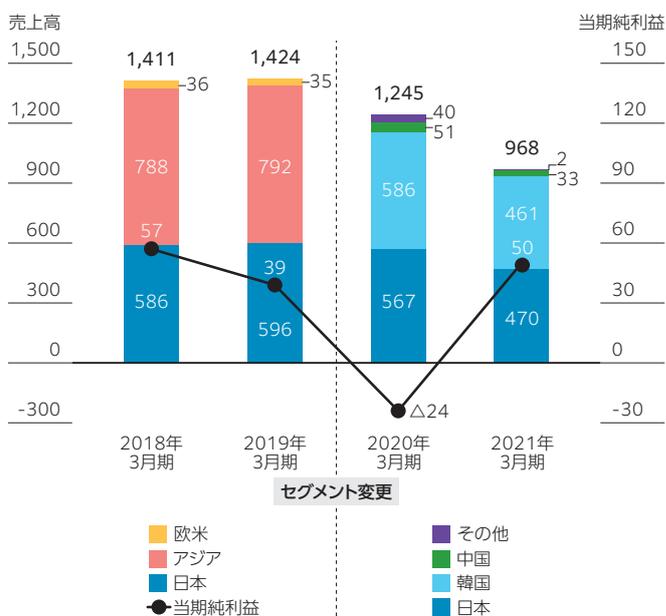


ブランド種類別売上高構成比 (2021年3月期連結)



コーポレートブランドである『デサント』を中心とした自社ブランドが売上の90%以上を占めています。

セグメント別売上高および親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 億円)



(注) セグメント別売上高および営業利益は、会社の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

デサントグループは、環境経営の指針として「デサント環境基本理念」「デサント環境方針」を定めるとともに、経営企画室を主管部署として環境保全活動を推進し、環境負荷・環境リスクを低減するとともに、それらの発生を予防するための行動を積極的・継続的に行っています。

環境基本理念と環境方針

▶ 「デサント環境基本理念」

デサントは、地球環境保全が最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で積極的・継続的に環境保全に配慮して行動する。

▶ 「デサント環境方針」

デサント環境基本理念に基づき、環境保全活動を推進し、環境負荷・環境リスクを低減し、その発生を予防するための行動を積極的・継続的に行う為に、下記の事項を定める。

1. 環境関連の法律・規制・協定等を遵守し、環境保全に取り組む。
2. 省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の削減に、全ての領域で取り組む。
3. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定して全員で取り組み、その結果を見直して継続的改善・向上を図る。
4. 環境負荷低減型の商品開発、商品づくりを行う。
5. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努める。
6. 環境教育を実施し、全従業員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図る。
7. 環境基本理念、環境方針及び環境保全の実施状況については、必要に応じて公開する。

CO₂排出量の削減

2019年度より、国内12事業所においてSCOPE 1(直接排出)および2(間接排出)で定義される・ガス・電力の使用によるCO₂排出量を集計しています。

2020年度のエネルギー使用量としては、事業所によるばらつきはありますが、コロナ禍においてテレワークの活用などにより社員の出勤は減少したものの、換気を徹底しつつ快適な環境を実現するための空調利用などで一部相殺され、トータルと

して若干の減少にとどまりました。一方で、再生エネルギー由来電力への切り替えを順次進めた結果、電力によるCO₂排出量が削減され、当社のSCOPE 1および2のCO₂排出量は速報値で約3割の削減となりました。公表数字の信頼性を担保するため、現在、SGSジャパン株式会社による検証を行っています。具体的な数値は検証終了後に当社HPの「CSRニュース」にて公表予定です。



SGSジャパン株式会社による西都工場の電力メーターの確認



リモート検査のため、メーター数字をスマートフォンでアップ

廃棄削減の取り組み

自社直営店舗で衣料品を回収



『デサント』ブランド直営店舗の「DESCENTE BLANC」に置かれた回収ボックス



『マーモット』ブランド直営店舗に置かれたブランドオリジナルの回収ボックス

アパレル産業においては、近年、大量生産・大量廃棄が環境に与える影響が大きいことが問題視されています。廃棄による環境負荷の低減に向け、デサントジャパン株式会社は、『デサント』と『マーモット』ブランドの直営店舗で、日本環境設計株式会社が推進する「BRING」*と連携した、ブランドを問わないシャツ、ジャケット、パンツなどの衣料品の回収を開始しました。

回収された衣料品は繊維製品の原料や新たな製品へと再生・再利用されます。それぞれの取り組みの詳細については下のURL先を参照ください:

『デサント』ブランドの取り組み

<https://store.descente.co.jp/descente/news/548/>

『マーモット』ブランドの取り組み

https://www.descente.co.jp/jp/press_releases/post-44579/

※日本環境設計と「BRING」の活動(<https://bring.org/>)について

「BRING」は、日本環境設計が様々な企業およびお客様と連携して実施する、地球の未来のために繊維製品を地球の資源へとリサイクルするプロジェクトです。プロジェクト参加企業が、お客様から不要な繊維製品を回収し、日本環境設計が、回収された繊維製品を原料や自動車内装材などにリサイクルし、まだ使える物については、寄付やリユースを行います。

社内ペーパーレス化の推進



当社では2020年度より電子契約システム「WAN-Sign」(株式会社ワンビシアーカイブズ)を用いた電子契約の導入や、社内における申請フローを従来の紙媒体からの電子化、展示会におけるデジタル企画書の使用など、業務におけるペーパーレス化の取り組みを進めています。

上記の取り組みの結果、緊急事態宣言に伴う出社制限の影響もありましたが、社内における複合機(プリンター)の使用実績は昨年対比で約60%削減されました。

当社は今後もペーパーレスをはじめとする廃棄物の削減や使用エネルギーの低減に取り組めます。

デサントグループは持続可能なモノづくりの実践のため、商品を通して「品質」「安全」「社会的責任」を達成するよう努めています。当社のサプライチェーンマネジメントは、これら各要素を、サプライヤーと協力して実現することを目指しています。

品質

当社は、スポーツウェアに要求される機能・品質を、デサント品質管理マニュアルに基づき、管理しています。同マニュアルを構成する「品質基準」については、JIS(ジス)^{*}規格を基準にしながら、スポーツウェアの実際の使用状況を考慮した独自の試験方法を組み合わせることで実効性を高めています。

各基準については、新技術の開発や使用状況の変化に対応するため、研究開発拠点であるDISC(ディスク、DESCENTE INNOVATION STUDIO COMPLEX)での検査・測定機能を活用して、適宜アップデートしています。また、本生産前に、各素

材および商品についての事前の物性データの確認を、サプライヤー/各ブランドマーケティング課/機能・品質管理課にて行い、本生産での問題発生の回避に努めています。必要に応じて、仕入先における管理体制や縫製工場における生産能力が当社の品質基準を遵守できるレベルにあるかの確認も行い、サプライヤーと共に品質基準の達成に取り組んでいます。

※JIS = Japanese Industrial Standards(日本産業規格)の略。日本の産業製品に関する規格や測定法などが定められた日本の国家規格です。

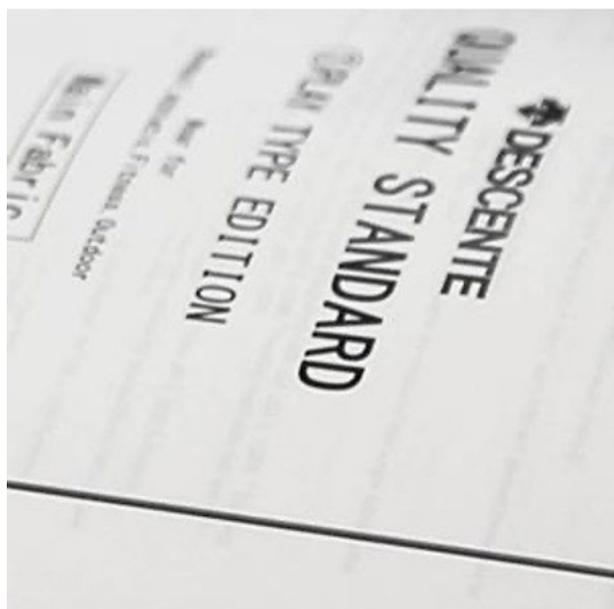
安全

当社は「製品安全基準」に基づき、各商品がお客様に危険を及ぼすことのないよう、各ブランドマーケティング課と機能・品質管理課において、重大事故のリスクを回避するセーフティレビューと、その他の使用上のリスクを回避するクオリティチェックを実施しています。

また、製造段階における生産者および製品の使用時の危険を避けるため、当社独自のRSL(Restricted Substances List: 制

限物質リスト)を制定し、サプライヤーと協力して、管理運用を実施しています。RSLについては、2019年にAFIRM^{*}(エーファーム)に加盟することで、最新の情報を踏まえた対応を行っています。

※AFIRM: Apparel and Footwear International RSL Management Group
2004年に米国で設立。アパレル、フットウェア製品に使用される化学規制物質の管理、削減、規制を推進するワーキンググループ



品質基準書



品質検査時の様子

品質と安全の向上を目的に、デサントジャパン株式会社では毎年「品質事故情報展」を開催しております。2020年度の開催につきましては本レポートP.14をご参照ください。

社会的責任

デサント・サプライヤーCoC

(取引行動規範)

当社の取引行動規範について、世界スポーツ用品工業連盟(WFSGI)の行動規範に基づき次の内容で決めました。

1. 法律の遵守
2. 労働条件
 - ① 強制労働
 - ② 差別
 - ③ 組織及び団体交渉の自由
 - ④ 賃金
 - ⑤ 労働時間
 - ⑥ 権利と休暇
 - ⑦ 児童労働
 - ⑧ 健康と安全
 - ⑨ 嫌がらせあるいは虐待
3. 環境
4. 地域社会との係わり合い
5. 企業内の独自の規範
6. 証明
7. 遵守



大阪オフィスにおけるリモート監査の様子

デサントグループは、自社製品の製造に関わる方々の労働環境を守るため、「デサントサプライヤーCoC」を制定し、サプライヤーと共にその遵守に取り組んできました。2020年より、その運用を下記のように見直しています。

▶ **使用縫製工場の把握:**

仕入先と、各シーズンにおける使用縫製工場の情報を共有します。

▶ **デサントサプライヤーCoC(以下、CoC)の誓約:**

仕入先および縫製工場に、上記CoCの遵守に関して誓約書を提出いただいています。

▶ **工場自主監査シートの提出:**

CoCの具体的な遵守状況として、仕入先を通じて縫製工場に工場自主監査シートの各設問に回答をいただいています。不適合項目については仕入先・縫製工場と連携して改善に取り組んでいきます。

▶ **第三者による工場監査の実施:**

必要に応じてSGSジャパン株式会社によるグローバル基準での第三者監査を実施し、専門家による監査に基づき実情を把握の上、改善に取り組んでいきます。

▶ **2020年度のデサントジャパン株式会社企画品の国別縫製工場数:**

日本	中国 (香港、台湾を含む)	韓国
114	280	5
ベトナム	インドネシア	タイ
78	17	10
ミャンマー	その他	合計
9	10	523

持続可能なサプライチェーンの達成に向けた取り組み — DOWNPASS認証

2020秋冬シーズンより、『デサント』ブランドの代表的アイテムである水沢ダウンにおいて「DOWNPASS」認証を取得したトレーサブルダウンの使用を開始しました。

「DOWNPASS」とはドイツのDOWNPASS e.V. (社団法人ダウンパス)が制度化した動物保護に基づき、倫理的に飼育・採取された羽毛であること、高い品質基準が維持された羽毛であることを保証する規格です。

水鳥の飼育状況から、羽毛の採取、洗浄工程、工場での製品

への投入までの、すべての工程について、厳格に管理することが求められますが、材料のサプライヤーから生産工場である自社工場の水沢工場まで、サプライチェーン全体で協力することで認証を受けています。

今後も当社は持続可能なモノづくりの実践のため、サプライチェーンマネジメントの強化に取り組めます。

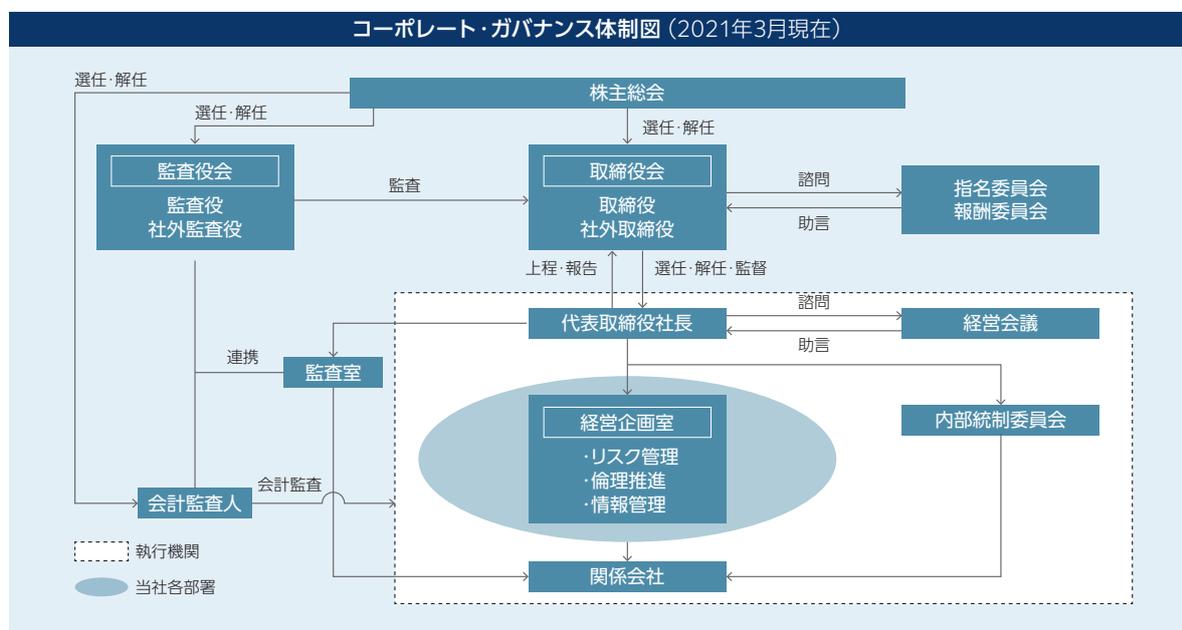
ステークホルダーの皆さまの信頼にお応えするための「コーポレート・ガバナンス・コード」への対応、企業理念実現のために「創業の精神」、「デサントグループ倫理綱領」を定め、「内部統制」体制を構築し、各取り組みを相互連携させることで、デサントグループとして持続性ある企業価値の向上を目指しています。

コーポレート・ガバナンス体制

企業理念である「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさ」の実現のために、法令や企業倫理に従い、誠実で公正かつ透明な事業活動を展開することが企業の社会的責任であると認識しています。コーポレート・ガバナンスをより機能させるために外的環境の変化に合わせ柔軟に体制や取り組みを進化させることが、継続的な企業価値向上において、経営上、最も重要な課題のひとつと考えています。

その実現のために「SPIRIT OF DESCENTE」(創業の精神、

P.10を参照)を「行動指針」とし、当社グループの原点としてグループ各社に浸透させるとともに、「デサントグループ倫理綱領」を定め、消費者の皆様、株主の皆様をはじめ、お取引先様、地域社会、従業員など様々なステークホルダーとの良好な関係を引き続き構築していきます。また、2019年度以降、取締役会6名中2名を社外取締役とし、より透明性の高い経営体制のもと、株主総会、監査役会、会計監査人など法律上の機関も加え、継続的にコーポレート・ガバナンスの充実を図っています。



リスク管理

当社に重大な影響を与える事態の発生防止と万一の発生時の損害・影響の最小化、ならびに事業の継続性および業務の適正性の確保を目的に、「リスク管理規程」「リスク管理運用規則」を定めています。これらに則り、リスク全般を可視化し、予防と発生時の対策の整備を行い、対策の実施状況に対する担当取締

役の監視とレビューののち、取締役会に報告します。

2020年度の抽出リスクは65件、うち監視対象リスクは10件、重大インシデントにつながるリスクの発生はありませんでした。また、子会社におけるリスクについても同様に毎年抽出し、グループ全体のリスク管理を実行しています。

情報管理

「企業秘密管理規程」「企業秘密管理基準」を制定し、情報管理を徹底しています。また、株式会社デサントとデサントジャパン株式会社が保有する個人情報および特定個人情報の適正な保護を実現することを目的として「個人情報保護規程」「個人情報保護規則」に管理方針を定めて、個人情報の適切な運用を行っています。毎年、一斉に全社の個人情報棚卸しを実施することで保有している個人情報の属性・件数・管理者・保管状態などを把握しています。

2020年度は、当社の企業秘密および保有する個人情報不正に利用されたなどの連絡は入っていませんが、お客様情報の紛失が1件(1名)発生しました。機密情報の漏洩はありませんでした。情報管理体制の強化に向けて、全従業員へ情報管理に関するeラーニングコンテンツを配信したほか、2021年1月から2月にかけてインサイダー取引に特化したeラーニング研修を実施しました。

コンプライアンス

企業活動において根本となる姿勢を「デサントグループ倫理綱領」に定める一方で、社員一人一人が、働く上で指針とすべき基準を「デサント倫理行動基準」として定めています。これらの遵守を推進するために、健全で品格に富む企業風土の醸成に努めています。職制を通じた解決が難しい問題、あるいは、ほかの社員の倫理に反する行動などの相談に対処するため、日本国内の従業員用には、相談しやすい環境整備を目的に保健師をメンバーに加えた社内の「倫理・ハラスメント相談窓口」に加えて、法

律事務所を社外相談窓口として設けています。また、海外子会社従業員向けにも相談窓口を多言語対応にて外部に設けています。

そのほかにも、株式会社デサントおよびデサントジャパン株式会社では3か月に一度、デサント 코리아株式会社は毎月、当該期間に入社した従業員を対象に、コンプライアンス面を中心としたCSR研修を実施しています。

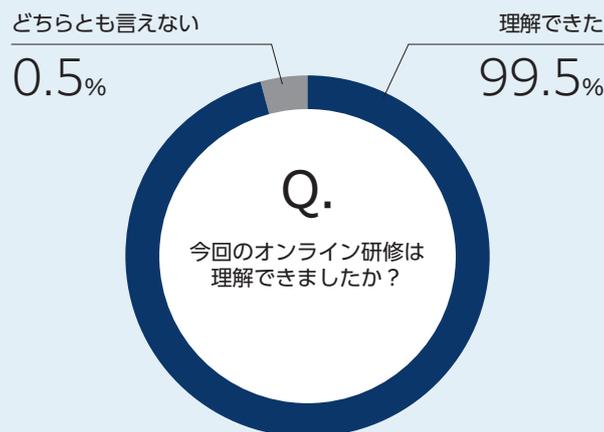
コンプライアンス研修



eラーニングを活用したコンプライアンス研修2020

当社では毎年、従業員一人一人が「ハラスメント」について考え、正しい知識を習得すること、そしてその意識を持って行動につなげることで公正な職場づくりを目指して全従業員を対象にしたコンプライアンス研修を行っています。2020年度に関しては、2020年6月の法改正によりパワーハラスメントの対策が強化されたことから、パワーハラスメントに特化した研修を同年8月から9月にかけて実施しました。また、本研修は例年、集合研修の形で行っていましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点からeラーニングの形で実施しました。

2020年度コンプライアンス研修に関する社内アンケート結果



従業員の安全確保と健康維持に向けて、災害時の安否確認システムの導入、アプリを活用したウォーキングイベントの実施などの取り組みを進めています。また、多様な人材が活躍できる職場づくりとそのための従業員育成に取り組んでいます。

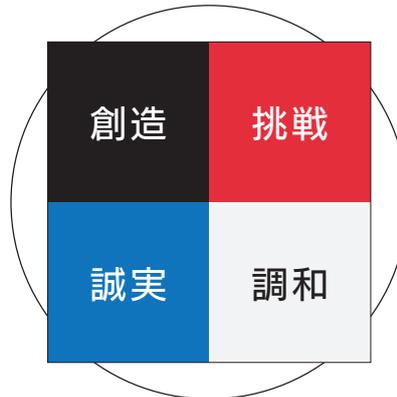
創業の精神「SPIRIT OF DESCENTE」に基づく行動指針

創造/CREATION

豊かな発想力は、いつの時代でも発展の原動力である。
センスを磨き、日々の仕事に明確な判断を下せる力を養え。

誠実/INTEGRITY

信頼するものには徹底して任せる。
人の誠意に対しては、人の誠意で応えよ。



挑戦/CHALLENGE

変化の時にこそ、チャンスがある。
新しいものを創り出す仕事なら失敗も覚悟のうちに入れよ。

調和/HARMONY

人間が人間を知って初めて商売は成り立つ。
力を集めて前向きに“協走”せよ。

創業の精神「SPIRIT OF DESCENTE」に基づく行動指針とは、デサントグループの従業員一人一人が、創業の精神を日々の業務で実践するために、より具体的な行動指針として明文化したものです。従業員一人一人が創業の精神を体現することで、企業理念である「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」を實踐し、経営戦略の実現、企業価値の向上にもつながると考えています。

従業員の安否確認

信頼される安心を、社会へ。



日本国内の事業所では、大規模な自然災害やパンデミック発生時における従業員の安全確保のため、セコム安否確認システムを導入しています。国内の震度5強以上の地震発生時には自動的に、震度5弱以下の地震および台風・集中豪雨などの自然災害時には必要に

じて安否確認メールを発信するほか、海外においても暴動などの情報をキャッチし、現地駐在員への安否確認を行います。毎年、定期的に安否確認訓練も実施しており、早期の安否確認と必要な初期支援、対象者への緊急メールの一斉配信などを行っています。

健康増進支援アプリを利用したイベント『みんなで歩活(あるかつ)』を実施



秋の大阪城をバックに歩け、歩け

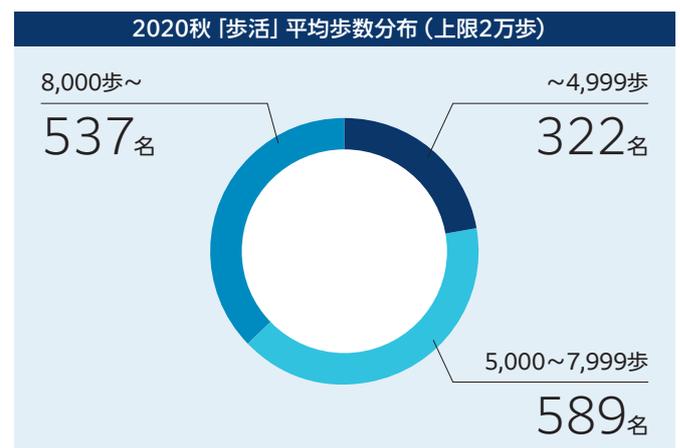
株式会社デサント、デサントジャパン株式会社、オール・デサント労働組合およびデサント健康保険組合は、生活習慣病を未然に防ぐための取り組みとして2020年10月21日からの1カ月間、健康増進支援アプリ「Kencom(ケンコム)」を利用した秋のウォーキングイベント『みんなで歩活』を実施しました。

本イベントはデサント健康保険組合が主催し、同組合に加入している従業員1,469名が参加し、274のチームに

分かれて歩数を競い合いました。

イベント期間中の参加者の平均歩数は7,424歩となりました。実施後のアンケートでは60.6%の参加者がイベントに参加したことで日々の歩数が増えたと実感しています。また、参加者

の8割がイベント後もウォーキングを継続していると回答しました。当社は今後も従業員の健康増進を目的とした活動に取り組みます。



外部団体による認定

前ページで述べた取り組み(「みんなて歩活」)のほか、従業員のクラブ活動・スポーツ活動の支援といった取り組みが評価され、経済産業省の認定制度である「健康経営優良法人2021」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」、東京都より「東京都スポーツ推進企業」の認定を受けています。

当社は今後も従業員の健康増進を通して、カラダもココロも健康で働きがいのある職場づくりに取り組みます。



多様な人材が活躍できる職場づくりと従業員育成

大阪東雇用開発協会 2020年度「優秀永年勤続障害者」表彰

2020年10月、デサントジャパン株式会社の社員が、大阪東雇用開発協会「優秀永年勤続障害者」の表彰を受けました。これは同一企業における勤続年数が10年以上で、その期間に、模範的な職業人として良好な成績で勤務された障がい者の方を認定・表彰するものです。本表彰制度における当社従業員の受賞は、2019年の2人に続き3人目となりました。

<受賞者>

所属(当時): デサントジャパン株式会社 DTC部門DTC業務推進課(大阪)
氏名: 北條広
入社日: 2008年9月1日
業務内容: 各種データ登録・更新などの営業サポート業務



表彰式: 左から、ハローワーク大阪東所長 油谷氏、北條広、雇用開発協会会長 畑氏

第12回 全国SC(販売員)ロールプレイング大会

デサントジャパン株式会社は、SCのさらなるスキルアップと顧客満足度の向上を図ることを目的に「全国SCロールプレイング大会」を毎年開催しています。2020年度のテーマは、「顧客に繋がる接客～対面接客ならではの小さな感動体験の提供～」としました。コロナ禍を考慮し、一次審査・二次審査ともに動画で審査する形式に変更して開催しました。全国の直営店や百貨店、専

門店など様々な業態の店舗に勤める32名を対象に、勤務する店舗にてお客様役のスタッフを相手に接客する動画を撮影し、審査員が評価。接客中の親しみやすさや笑顔の多さ、お客様への共感をその場で表現できていた点などを評価し、優秀な成績を収めた3名を表彰しました。

<第12回「全国SCロールプレイング大会」の結果> 受賞者(売場/ブランド)

- ・優勝 前田浩次 DESCENTE TOKYO/デサント
- ・準優勝 永島真利 玉川高島屋/デサント(ゴルフ)
- ・新人賞 菊地瑞葉 マンシングウェア クラブハウス銀座/マンシングウェア



いずれもデサントジャパン株式会社 社長の小川と共に: 左から、優勝の前田浩次、準優勝の永島真利、新人賞の菊地瑞葉

ダイバーシティへの取り組み

当社ではダイバーシティ推進の一步目として女性の活躍推進に注力しております。

特に日本事業において、2016年度より2019年度(2020年3月)を目途に女性管理職者数15名^{*1}、女性基幹職^{*2}30名以上を目標とし、社内広報誌の発行やセミナー・懇談会・メンター制度などの取り組みを続けてきました。2019年、2020年には、「女性管理職候補育成研修」(概要は以下を参照してください)

を実施し、2名の受講者が現在管理職として活躍しています。

結果、2020年3月時点で女性管理職10名、女性基幹職24名と、目標未達に終わりましたが、取り組み当初より女性管理職は8名、基幹職は19名増加しました。

当社は今後も多様な人材が活躍できる職場づくりと従業員の育成に取り組みます。

2020年度 女性管理職候補育成研修 概要

研修内容: (1)管理職の仕事の進め方 / (2)管理職として必要な知識(労務管理・会計) / (3)部下マネジメントについて / (4)自分らしいリーダーシップとは
 研修形式: コロナ禍の影響も考慮しオンラインで実施
 受講人数: 3名(内1名が現在管理職)
 2019年度実績: 10名(内1名が現在管理職)

^{*}1目標設定時である2015年時点の管理職者数に対する割合15%で計算した人数
^{*}2管理職層

TOPIC 新型コロナウイルスへの対応——予防・拡大防止への取り組み

国内で新型コロナウイルス感染症の拡大が始まった2020年2月、いち早くBCP(事業継続計画)事務局を立ち上げ、感染予防および拡大防止策の徹底に取り組んでいます。

BCP事務局では従業員の感染の予防・拡大防止策として、マスク着用・手洗い・手指消毒・うがい・咳エチケットの励行、備蓄していたマスクの配布、国内外の出張の禁止、安否確認システムの活用などに加えて、就労体制では時差出勤・テレワークの推進など、従業員が対応すべき事項の徹底を図りました。現在はBCP事務局の機能を人事総務部で引き継ぎ、継続して対策を進めています。なお、政府による緊急事態宣言の発出を受け、店舗においても随時、臨時休業や時短営業を実施しており、感染抑止に努めています。

各拠点・工場での主な対策:

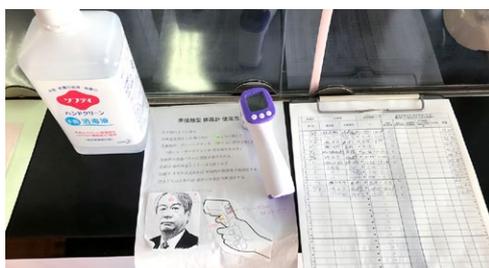
各拠点および工場では、アクリル板の設置や手指の消毒、検温、定期的な換気、黙食などを励行しています。



大阪オフィス受付: 検温の実施とアクリル板・消毒液の常備



東京オフィス食堂の入口: 消毒と黙食の励行



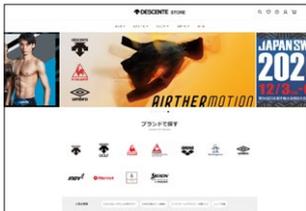
水沢工場(岩手県奥州市): 入館時の消毒および検温の結果を記録



西都工場(宮崎県西都市): 使える蛇口の数減らし水しぶきの飛散を防ぐ

デサントグループの競争力の源泉はスポーツウェアの開発力です。お客様のご要望を聞き、それにお応えするために技術と発想力で、常にプレミアムな商品を開発します。また、ブランドの世界観をお客様に伝えるため、オンラインを含めたDTC(Direct to Consumer)事業を拡大し、お客様と直接的なコミュニケーションが取れる売り場づくりに取り組んでいます。

デサント公式通販「DESCENTE STORE オンライン」全面リニューアル



リニューアルした「DESCENTE STORE オンライン」のトップページ

デサントジャパン株式会社は、eコマース(以下、EC)事業の拡大・販売力強化を目的に、デサント公式通販「DESCENTE STORE オンライン」を全面リニューアルし、2020年11月26日にオープンしました。今回のリ

ニューアルでは、お客様にご注文いただいてから最短で翌日出荷が可能になる納期短縮や、着用画像やコーディネート提案など商品情報の拡充、お探しの商品を見つけやすくする検索ナビゲーションの改良などを実施しました。

引き続き、新規のお客様と直接結びつく接点を増やす施策により、ECでの売上比率において国内売上20%を直近の目標として、事業拡大に取り組めます。

初のオウンドメディア「ULLR MAG.」を配信

ULLR MAG.



デサントジャパン株式会社は、2020年6月18日に初の試みであるオウンドメディアの「ULLR MAG.」(ウルマグ)を立ち上げ、記事配信をスタートしました。

ウルマグは、DTCビジネスの強化に向け、より幅広いお客様とのコミュニケーションを深めるための「カラダから心をデザインする、ライフスタイルマガジン」です。新たにスポーツをするなどカラダを動かしたいというニーズをすでにお持ちのお客様、美

容や健康といった心の充足感を求め、カラダを動かすことを潜在的なニーズとしてお持ちのお客様をターゲットにし、商品紹介に限らず、カラダと心の両方で喜んでいただけるような独自編集記事を配信しています。

“ULLR MAG.”とは

“ULLR(ウル)”は、北欧神話における“スキーマの神”を表し、“豊穡”の象徴としても捉えられていたそうです。スポーツやファッションを楽しむすべての人が、カラダも心も豊かな日々を送るために価値ある情報を発信する意味を込めました。

ULLR MAG.: <https://www.descente.co.jp/media/>

顧客満足度の向上を目的に2020年度の優秀店舗を表彰

デサントジャパン株式会社は、さらなる顧客満足度向上のため、優秀店舗を選定・表彰し、店頭でのお客様へのサービスの質を高めています。2020年度も店頭売上高、販売員1人あたりの売上高などの定量面に加え、お客様へのアプローチ、店頭施策の計画・実行・検証の状況、チームワークなどの定性面も加味し、最優秀賞をはじめ、直営店賞・百貨店賞などの流通別表彰や敢闘賞などを含めた14の店舗賞と、さらに個人賞として新人賞1名を選定しました。

おがわのりお デサントジャパン株式会社 代表取締役社長 小川 典利 から販売員に向けたメッセージ抜粋

2020年4・5月は緊急事態宣言下で店舗が休業となり、不安を抱く日々が続いたと思います。営業を再開した今、まずは自身の健康と安全に気を配り、この状況下で来店されるお客様への感染防止策と最高のサービスを提供することに邁進してください。売場でのお客様へのサービスにはチームワークが重要です。チーム一丸となり、今後もデサントという企業と展開するブランドの成長を実現しましょう。



最優秀賞に輝いた「DESCENTE TOKYO」(東京都渋谷区)



新人賞を受賞した「小田倉百貨店新宿店 ハルクスポーツ」の
はたけやま しおり
畠山 忠央利

第4回 品質事故情報展を動画配信にて開催

～事故から何を学ぶのか～

デサントジャパン株式会社は、2020年11月11日から12月2日にかけて、従業員およびサプライヤーを対象に「第4回品質事故情報展」を開催しました。

品質事故情報展はお客様に安全で良い商品をお届けするため、品質事故から事故の要因を学ぶことで、再発防止とさらなる品質向上を図ることを目的にしています。2017年より毎年、展示会形式で行ってきましたが、今回はコロナ禍を考慮して動画配信に形を変えて実施しました。

この情報展は、これまでの品質事故の事例やお客様からのお問い合わせやご指摘の内容を、社内だけでなくサプライヤーにも共有し、サプライヤーと一体になって品質管理の重要性を再認識する場となっています。

▶ 配信スケジュール

第4回品質事故情報展の内容は3分割に動画化し、以下の配信スケジュールで社内およびサプライヤーへ配信しました。

第1回目の配信(約23分間): 11月11～18日

第2回目の配信(約24分間): 11月18～25日

第3回目の配信(約22分間): 11月25日～12月2日

▶ 第4回 品質事故情報展開催の目的と事例の選択について

これまでと同様、最新の品質事故情報を知ることによって、品質管理および生産管理力の向上につなげるのが目的です。素材や加工、縫製手法が高度化している中で、品質管理知識および技術も、これまで以上に高度化していく必要があるということ伝えるため、事例は、最近の事故事例の中から「材料要因」「縫製要因」「加工要因」「設計要因」など幅広く選択して紹介しました。

▶ 視聴後の反応

計3回の配信で、延べ142人の関係者(社内78人、社外64人)が視聴しました。視聴後に行ったアンケートの結果は、約70%が「とても参考になった」、約30%が「参考になった」との回答でした。その中で、特に関心が高かった事例を以下に挙げます。

「縫製仕様の間違いによる中わたの抜け落ち」

「プリントの剥離」

「ウェストゴムの滑脱」

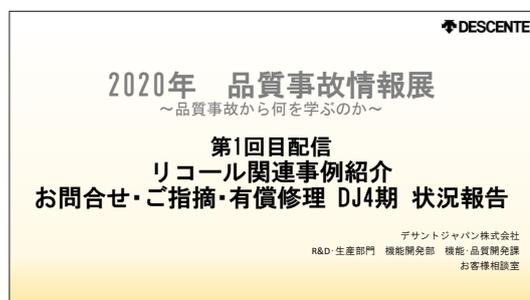
「染料プリントの色泣き」

「最近の接着仕様の剥離事例」

「フィラメント糸の起毛素材のピリング」

▶ 今年度の品質事故の傾向や特徴、今後の予防策

接着縫製など縫製手法の高度化もあり、従来の設計管理知識や手法では見落としてしまう事例もありました。今回の事故事例をもとに、品質管理の一層の改善と向上に努めていきます。当社は、サンプル設計の当初から本生産に至るまでの材料管理、さらにサンプル段階での製品安全性の管理を行い、消費者満足度の高い製品づくりに努めています。



第1回目および第2回目の配信スタート画面

デサントグループは、スポーツを通じたイベント活動やキャリア教育により、未来を担う子どもたちや学生、地域住民の皆様の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献しています。同時に、NPOとの連携および被災地の皆様への支援などにも継続して取り組んでいます。

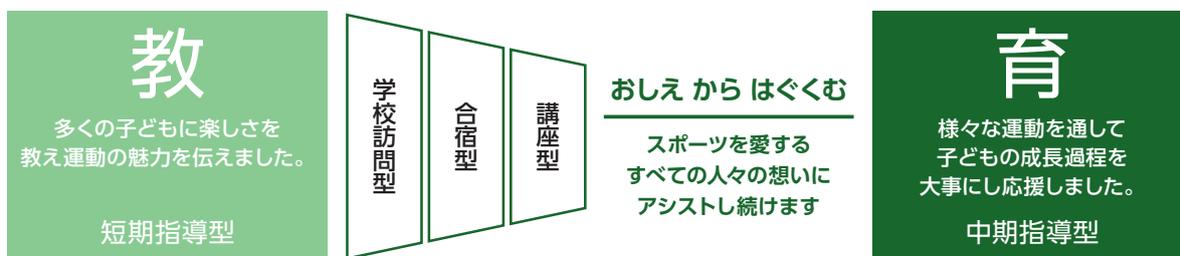
スポーツ体験型プログラム

「すこやかキッズ スポーツ塾」2020年度の活動



「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」

すこやかキッズスポーツ塾は、トップアスリートとのスポーツ交流を通して子どもたちに体を動かす楽しさを知ってもらうことを目的に開催しています。2007年のすこやかキッズスポーツ塾実行委員会の立ち上げ以降、文部科学省、スポーツ庁の後援を受け、これまでに全国約40,000人の子どもたちにスポーツをすることの楽しさを届けています。実施するプログラムは学校訪問型、合宿型、講座型の3種類があり、いずれかのプログラムを1回だけ開催する短期指導型と、より持続的な活動として定着を図るために複数回を開催する中期指導型があり、主催者の意図を確認しながらいずれかの形式を選択して実行しています。



短期指導型:「B&G財団 若洲マリンスポーツ体験会」で運動プログラムを提供

概要	日程と場所
主催者: 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 塾長: 多田ゆかり氏 (元・女子ラグビー日本代表選手)	2020年8月21~22日: 若洲海浜公園ヨット訓練所 (東京都江東区) 参加人数: 21日: 18名、22日: 34名、延べ52名

▶ 総評

デサントジャパン株式会社は、若洲海浜公園ヨット訓練所で行われたB&G(ブルーシー・アンド・グリーンランド)財団の体験格差解消事業(子どもに自然体験の機会を提供する活動)の一環であるマリンスポーツ体験会へ協賛し、「すこやかキッズスポーツ塾」を共催しました。

今回はコロナ禍における対策として、特定の児童養護施設の子どものとその職員を対象にし、従来のマリンスポーツ体験会で実施しているカヌー、SUP(スタンドアップパドル)、東京湾でのボート遊覧などの体験に加え、すこやかキッズスポーツ塾のウォーミングアップを兼ねた運動プログラム「わくわく体操」を多田ゆかり塾長による指導で実施しました。参加者たちは、フープやラグビーボールなどの道具を巧みに使って仲間と競いながら、からだを思いっきり動かすことを楽しみ、外で遊ぶことの少なかった夏休みに様々なスポーツを体験しました。



多田塾長がラグビーの精神「ごめん・ドンマイ」「思いやりのパス」を指導



「わくわく体操」でフープのトンネルをくぐり抜ける



ボード上に立ち上がり、パドルを漕ぐSUP

中期指導型:仙台市内の小・中学校への訪問および体操プログラム動画の配信

概要	日程と場所
主催者：仙台市教育委員会 塾長：田中 光氏 (アトランタオリンピック 体操日本代表)	2020年12月3日 午前：仙台市立芦口小学校 午後：仙台市立栗生小学校 2020年12月4日 午前：仙台市立南吉成中学校 午後：仙台市立南光台小学校 参加人数：学校訪問は2日間4校の実施で計352名 動画配信：仙台市立の全小学校・特別支援学校(小学部)120校の計52,348名が対象

総評



マット運動を実演する田中氏

デサントジャパン株式会社は、「すこやかキッズスポーツ塾」において、仙台市教育委員会と協働し、仙台市アスリート活用事業として仙台市立の小・中学校で体操を教える訪問授業および新たな取り組みとして仙台市立の全小学校・特別支援学校を対象に体操プログラムの動画配信を行いました。

新型コロナウイルスの影響もあり、運動機会が減少している子ども達の体力向上を目的に、オリンピックで公益財団法人日本体操協会女子体操強化本部長の田中光氏による訪問授業に加え、バランス感覚やジャンプ力などを養える体操の様々な基本動作を取り入れた動画を田中氏と共に作成し、学校での授業や家庭でも実施できるよう仙台市立の全小学校・特別支援学校に配信しました。

今後も、訪問授業だけでなく動画配信も活用することで、より多くの子どもたちへスポーツ体験の機会を提供し、身体を動かす楽しさを知ってもらう持続的な社会貢献活動を推進していきます。



南光台小学校で参加者が勢揃い



全6プログラムの動画にアクセスできる仙台市教育委員会「ティーチャーヒカルプログラム 仙台」ページ



配信された動画で学ぶ生徒たち

ICTを活用した遠隔授業を実施

「新しいスポーツウェアを考えよう」がテーマ



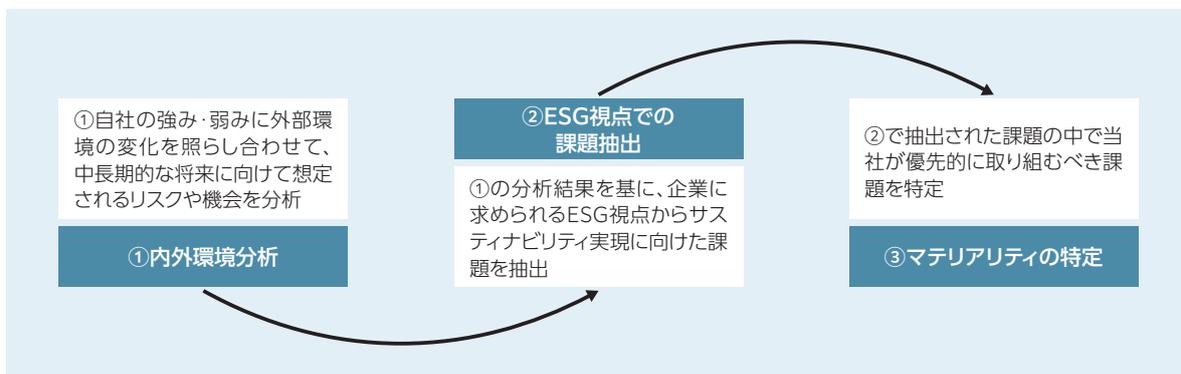
初回として11月26日に実施した静岡市立中薬科小学校での遠隔授業の様子

当社は、静岡大学および同大学教育学部発のベンチャー企業である一般社団法人「プロフェッショナルをすべての学校に」と協力し、2018年度よりスポーツ人口の拡大と地方・離島の学校における教育格差の解消を目的としてICT(Information and Communication Technology)を活用した遠隔授業に取り組んでいます。

2020年度は課題解決型授業「新しいスポーツウェアを考えよう」をテーマとして計6校の遠隔授業を実施しました。小学校と当社オフィスをビデオ会議システムでつなぎ、『デサント』ブランドの商品企画担当者がモノづくりのポイントなどを説明したのち、子どもたち自身が機能性やデザイン性を考えたスポーツウェアを発表しました。2018年度より実施している本活動は、スポーツ庁推進の「Sport in Life」プロジェクトの参考事例として掲載されています。

サステナビリティ方針のもと、より実現性のある効果的な活動につなげるため、以下のプロセスで優先的に取り組むべきマテリアリティ(重要課題)の特定を行いました。特定したマテリアリティを経営戦略に反映させ、デサントグループでの課題解決を目指します。

マテリアリティ特定プロセス



特定した4つのマテリアリティ

<p>①</p>	<p>持続可能なモノ・仕組みづくりへの「挑戦」 “Reduce+イノベーション”</p> <p>売上拡大を前提としたビジネスモデルは結果として作り過ぎにつながり、環境へのダメージだけでなく事業上でも過剰在庫として悪影響を与えかねません。当社は作り過ぎを抑制し、またお客様のニーズをよりの確に捉えることで、適時適品を実践し、値引きや最終的な廃棄を最小化し、環境負荷を低減するサステナブルなモノづくりに挑戦します。また、テクノロジーの活用による業務効率化などにより、持続可能な仕組みづくりも実行します。</p>	<p>関連する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 📖 P.4: 環境保全への取り組み 📖 P.18: モノづくりに直結するマテリアリティ
<p>②</p>	<p>新たな価値「創造」 “Create+イノベーション”</p> <p>当社は、「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」を企業理念とし、スポーツ本来の「体を動かす楽しさ」、「競い合う楽しさ」を提供することで一人一人のいきいきとしたライフスタイルの創造に貢献することを目指しています。当社の強みであるモノづくりの力により、社会や環境の変化を捉え、お客様の課題解決にもつながる新たな価値をイノベーションによって創造します。</p>	<p>関連する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 📖 P.13: お客様とのかかわり 📖 P.19: モノづくりに直結するマテリアリティ
<p>③</p>	<p>「誠実」な組織と仕組み、従業員“ガバナンスとヒトづくり+経営基盤・人材活用力”</p> <p>企業の持続性実現の土台にあるのは統治された組織と従業員のモチベーションです。当社はスポーツ企業として、スポーツマンシップに則った健全な事業活動を行うことはもちろん、従業員に対するスポーツ活動の奨励や当社の製品を通じ、カラダもココロも健康で、生産性向上につながるアウトプットの高い組織風土づくりと従業員の育成を目指します。</p>	<p>関連する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 📖 P.8: ガバナンスとコンプライアンス 📖 P.10: 従業員とのかかわり
<p>④</p>	<p>地域・社会との「調和」 “共生からの成長 市場開拓力”</p> <p>持続可能な社会の実現に向け、当社はスポーツを通じたイベント活動やキャリア教育に取り組み、未来を担う子どもたちや学生、地域住民の皆様のカラダとココロを豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献します。同時に、NPOとの連携および被災地への支援などにも取り組んでいます。</p>	<p>関連する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 📖 P.15: 地域社会とのかかわり

「モノづくり」に直結するマテリアリティ、 ①Reduce+イノベーションと②Create+イノベーション

2021年度に特定した4つのマテリアリティの中でも、「①Reduce+イノベーション」と「②Create+イノベーション」の2つはデサントグループの強みである「モノづくり」に直結する内容であり、マテリアリティの中でもより注力して解決に臨みます。代表的な取り組みは以下の通りです：

マテリアリティ

①

持続可能なモノ・仕組みづくりへの「挑戦」“Reduce+ イノベーション”

- ・「作り過ぎ」からの脱却
- ・3R(Reduce, Reuse, Recycle)の1つReduce(減らす)の徹底

「RE: DESCENTE」始動



「RE: DESCENTE」のキービジュアル

『デサント』ブランドにて、3Rの観点からサステナビリティを推進する取り組み「RE: DESCENTE(リ デサント)」を始動しました。

3Rは環境保全やサステナビリティの推進に重要な要素です。「RE:DESCENTE」は、Reduceの観点として「RE:DESCENTE SEED(リ デサント シード)」(以下、シード)、Recycle(繰り返し使用する)の観点から「RE:DESCENTE BIRTH(リ デサント バース)」(以下、バース)の2つの商品カテゴリーを柱としています。

「シード」は、分解され自然に還る生分解性素材を使用したシ

デサントジャパン株式会社は、「デサント環境基本理念」「デサント環境方針」(P.4を参照)のもと、持続可能なモノづくりに挑戦しています。その一環として、

リーズです。天然繊維の和紙を原料とした独自素材だけでなく、ボタンや接着縫製に使用する接着剤などの副資材も生分解性素材を使用しながら、スポーツウェアとしての機能性も備えています。生分解性素材を使用することで、廃棄時の環境負荷を低減します。「バース」は、回収衣料品のリサイクルによる再生ポリエステルを使用した商品です。これにより、化石燃料由来の新たな化学繊維の使用を抑えることを目指しています。

このRE:DESCENTEの商品は、ブランド直営店「DESCENTE BLANC(デサント ブラン)」、デサント公式通販「DESCENTE STOREオンライン」で販売し、韓国および中国でも順次発売する予定です。当社は、環境配慮と高機能要素を組み合わせた商品展開および環境保全活動に取り組み、「持続可能なモノづくりへの挑戦」を体現していきます。

なお、『デサント』ブランド直営店である「DESCENTE BLANC」の日本国内店舗にて、当社が取り扱うすべてのブランド商品の回収も行っており、お客様にご愛用頂いた後の当社商品が持ちえる環境負荷の低減にも努めていきます(P.5を参照)。

長く使っていただける商品づくりへの取り組み — 「水沢ダウン」のカスタマイズサービスを数量限定で実施

デサントジャパン株式会社は、『デサント』を代表する高機能国産ダウンジャケットである「水沢ダウン」において、自分の好みに合わせてカスタマイズできるサービス「MADE TO MEASURE(メイドトゥメジャー)」を直営店である「DESCENTE BLANC 代官山」「DESCENTE BLANC 福岡」の2店舗にて、それぞれ70着の数量限定で実施しました。

今回の「MADE TO MEASURE」では、「水沢ダウン」の中でもハイスpekな定番モデルである「マウンテニア」において、ホームページ上で表地と裏地の色の組み合わせをお客様ご自身の好みに合わせて決めることができるほか、AI採寸アプリを使用してご自身のサイズを計測し、店頭でのサイズサンプルの試着や店頭スタッフとのカウンセリングを通して最終的な身幅や着丈、衿丈を調整し、お客様一人一人のためだけの一着を実現しました。

当社は『デサント』ブランド以外でもカスタムオーダーの展開を行っています。カスタムオーダーを通してお客様に最も適した商品を生産し、長く使っていただける商品をお届けします。



マテリアリティ

②

新たな価値創造 - “Create + イノベーション”

- ・「安心・安全」の継承と保有資産の活用
- ・イノベーションによる「新たな価値」の創造

世界共通デザイン“ARENA BISHAMON”コレクションを発売



デサントジャパン株式会社は、『アリーナ』ブランドより2021年シーズンの世界共通デザインを取り入れた“ARENA BISHAMON(アリーナ ビシャモン)”コレクションを、2020年12月から発売しています。

デザインには、戦い・勝利の神として知られている“毘沙門天”の顔と、六角形を3つ組み合わせた基本形を規則的に並べた毘沙門天の鎧に使われている吉祥文様“毘沙門亀甲”を取り入れました。縁起の良いデザインであるとともに「内なる闘志を奮い立たせる」という想いを込めた、力強いデザインで、世界共通デザインとして海外の契約選手が着用する水着にも採用しています。

グローバルスイムウェアブランドとしてのさらなる認知度向上を図るとともに、今後も当社の開発力とデザイン力で技術・技能面でのサポートだけでなくスイマーのモチベーションを高めるような商品を展開していきます。

『アリーナ』契約選手: 右より入江陵介選手、
アダム・ピーティ選手(イギリス)、
カティンカ・ホッサー選手(ハンガリー)

当社アーカイブ製品を東京都現代美術館に展示

当社では、これまで開発したウェアや関連資料の一部をアーカイブとして保存・保管しています。その中でも2002年のソルトレークシティーオリンピックで選手や関係者が着用した競技ウェアを、東京都現代美術館に出展しました(2020年11月14日～2021年2月14日)。これは、世界的に活躍したアートディレクター・デザイナーである故・石岡瑛子氏の、大回顧展企画の一つとして展示されたものです。

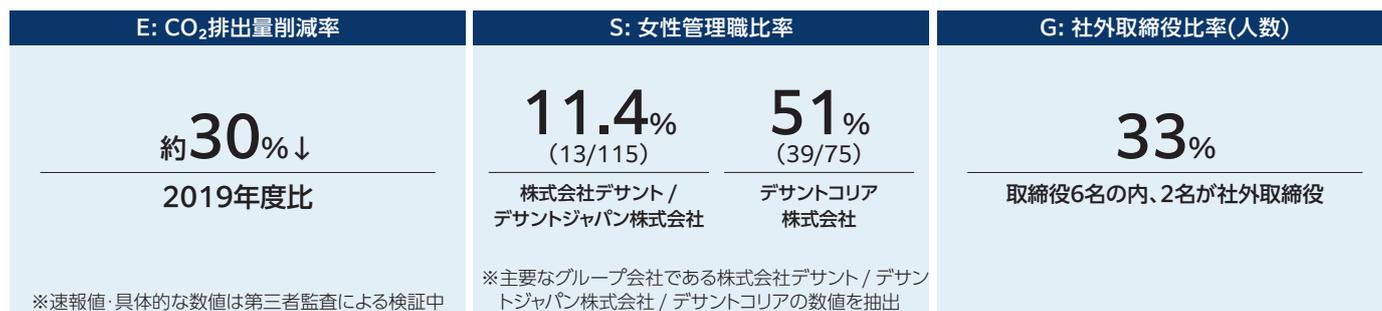
展示されたのは、選手が試合前に集中・リラックスするためのコンセントレーションウェア『コクーン』や、整流効果理論を応

用して発展させたスピードスケートスーツ『マッスル』など、当時では先進的な技術開発力と石岡氏のデザインを融合したウェアです。本展示会を通して、これまでスポーツウェアに興味のなかった方にも当社の製品の魅力を知っていただくことができました。

今後も当社はアーカイブをはじめとする保有資産を通じた、これまでにない形での認知拡大と、技術力を活用した、より高品質なウェア開発に注力し、新たな価値の提供に取り組みます。



東京都現代美術館で展示されたアーカイブウェア



株式会社デサント

創業	1935年(昭和10年)2月
設立	1958年(昭和33年)2月
代表取締役社長	小関 秀一
資本金	38億4,620万円
年商	968億円(連結、2021年3月期)
従業員数	3,148名(連結) 34名(単体) (2021年3月31日現在)
業種	スポーツ用品およびこれらに関するものの製造と販売
東京オフィス	東京都豊島区目白1-4-8 〒171-8580 TEL. 03(5979)6006 (総務・秘書課)
大阪オフィス	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-11-3 〒543-8921 TEL. 06(6774)0365 (人事統括課)
役員	代表取締役社長: 小関 秀一 取締役専務執行役員: 金 勳道 取締役常務執行役員: 土橋 晃 取締役常務執行役員: 小川 典利大 社外取締役: 東 智徳* 社外取締役: 佐藤 誠治* 常勤監査役: 中島 幹夫 社外監査役: 吉岡 浩一* 社外監査役: 松本 章*

*株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員です。

主なグループ会社 (2021年3月時点)

連結子会社	デサントジャパン株式会社(東京) スポーツ用品およびこれらに関するものの製造と販売
	デサントアパレル株式会社(大阪) スポーツ用品およびこれらに関するものの製造
	BEIJING DESCENTE CO., LTD(中国 北京) スポーツ用品およびこれらに関するものの製造
	SHANGHAI DESCENTE COMMERCIAL CO., LTD(中国 上海) スポーツ用品およびこれらに関するものの販売
	HONG KONG DESCENTE TRADING, LTD(中国 香港) スポーツ用品およびこれらに関するものの販売
	DESCENTE KOREA LTD.(韓国 ソウル) スポーツ用品およびこれらに関するものの販売
	DESCENTE GLOBAL RETAIL LTD.(韓国 ソウル) スポーツ用品およびこれらに関するものの販売
持分法適用会社	LE COQ SPORTIF (NINGBO) CO., LTD(中国 寧波) スポーツ用品およびこれらに関するものの販売
	DESCENTE (CHINA) CO., LTD(中国 上海) スポーツ用品およびこれらに関するものの販売
	ARENA (SHANGHAI) INDUSTRIAL CO., LTD(中国 上海) スポーツ用品およびこれらに関するものの販売
	ARENA KOREA LTD.(韓国 ソウル) スポーツ用品およびこれらに関するものの販売

DESCENTE



コーポレートシンボルマークの由来

DESCENTEとは、フランス語で「滑降」の意味。

スピリットマークは、スキーの基本技術である直滑降、斜滑降、横滑りを表現しています。

つねに最もすぐれたものに目を向け、時代の要求を先取りし、積極的に製品化していく果敢なデサントスピリットのシンボルです。



コミュニケーション・オン・
プログレス

国連グローバル・コンパクトの原則の実践
状況および国連の様々な目標の支持につい
て、この**コミュニケーション・オン・プログレス**
を通じて報告しています。

内容に関するご感想・ご意見を歓迎します。

本レポートに関するお問い合わせ

株式会社デサント 経営企画課

TEL: 03-5979-6111/FAX: 03-5979-6106

当社CSRサイト

<http://www.descente.co.jp/jp/csr/>